キャンプファイヤー

概　要 （セールスポイント）	・日が沈みかけた夜の自然の中で炎を囲み，ゲーム，ダンスなどを行うことで，連帯感や友情を深めることができる。 ・研修計画のどの辺りに取り入れるかで，集団の緊張をほぐし，親睦を深めるたり，研修の振り返りや自己を深く見つめる場となることができる。			
諸条件	場　所	営火場（室内も含む）	対　象	全て
	所要時間	約1時間	人　数	制限なし
	時　期	通　年	天　候	多目的ホールのみ雨天時可
活動の 教育的効果	・歌やゲームを通し，友情や親睦を深めることができる。 ・キャンプファイヤーの企画や運営を通し，リーダー性や協調性を養うことができる。 ・煌々と燃える火を見つめながら，自分の心を見つめることができる。			
準備する物	少年自然の家が貸出可能な物		団体(個人)が準備する物　※参考	
	□火の神衣装　□トーチ(5本)　□灯油 □アンプ　□マイク □延長コード		□軍手　□懐中電灯 □薪(自然の家に注文，持ち込みも可) □薪代（外は3000円，室内は1800円）	

活動内容 （手順）	活動の流れ	容	備　考
	事　前	□役割分担 □安全指導　・トーチを持つ生徒への安全指導 ・大きな火の周りでレクをする事への注意喚起	
	準備	□薪・すのこ・衣装・トーチ・灯油を受け取る □営火場へ薪を運び，セッティングする	□セッティングは職員指導可
	ｷｬﾝﾌﾟ ﾌｧｲﾔｰ	□第1部（迎火のつどい） □第2部（交歓のつどい） □第3部（送火のつどい）	
	片付け	□薪を燃やし切るようにする □翌朝，清掃用具を持って灰と燃え残った薪を処理する □灰は，灰捨て場に捨てる	※消火確認

想定される リスク	□けが（準備段階での薪で指を挟む，とげが刺さる） □やけど（衣服に火が燃え移る，火の粉が体や衣服に付く） □火事（風向き，乾燥期などの天候を最大限考慮する） □転倒（暗闇の中のレクリエーション） □虫刺され
指導の バリエーション	□火を小さくして，火を見つめながら仲間と語るよう指導する。 □団体の計画や参加者主体の自由な発想での実施をおすすめします。